

次代を担うリーダー達の第一歩



入学式

4月9日(木)は入学式でした。小川 純一校長(写真①)が、「先進的な技術と優れた経営感覚を備えた地域農業のリーダーになってほしい。」と激励しました。次に、柴折 史昭センター所長(写真②)が「学生時代は、自らの意思と責任において、学び行動し、実社会での困難に打ち勝つ農業人材として大きく成長してほしい。」と告辞を述べられました。新入生を代表して小川 貴史さん(写真③)が「新しい時代の農業の担い手を目指して、専心努力する。」と力強く宣誓しました。



校歌練習 (1・2年次生および研究科生)



入学式の翌日は、1年次生、2年次生と研究科生の初顔合わせ。我が母校となる農業大学校の校歌の練習をしました。

農業基礎演習 (1年次生)



4月13日(月)、1年次生の実習開始。最初は、「うねたて」から。農機・農具の名称と扱い方、農場管理、学ぶことはたくさんあります。

農業基礎実習 (1年次生)



基礎演習が終わると、基礎実習へ。三班に別れ、生産技術コース、地域資源活用コース、アグリビジネスコース、畜産研究課での実習体験を通して、専攻するコースを決定します。

プロジェクト研究 (2年次生)



2年次生は、卒論となるプロジェクト研究を始動。ひとりひとりのプロジェクトをコースのみんなで協力し、推し進めます。写真は、さつまいもの植え付け前に、土壌消毒をしているところです。

きのべ市初開市 (2年次生)



今年度も、きのべ市を開きます。第1回は、4月13日(月)に開市。写真は、ダイコンを準備中。マリーゴールドや金魚草、イチゴ、ナスにブロックリーなどを販売しました。